

特記事項

- 研修会会場までの交通費および研修会中の宿泊費は参加者の負担となります。
- 研修会には野外実習が含まれます。森林内で作業可能な服装をご準備ください。
- 各開催地で実施される全科目を受講した参加者には修了証を授与します。

研修会開催日程

鳥獣被害対策コーディネーター

開催地	会期	日程	申込締切	問い合わせ先
埼玉県 秩父市	前期	12月11日(火) ～12月14日(金)	12月1日(金)	(株)野生動物保護管理事務所 Tel 042-860-0256/ Fax 042-798-7565/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 平山・櫻庭
	後期	1月15日(火) ～1月18日(金)	1月4日(金)	(株)野生動物保護管理事務所 Tel 042-860-0256/ Fax 042-798-7565/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 平山・櫻庭
福岡県 福岡市	前期	12月18日(火) ～12月21日(金)	12月7日(金)	(株)野生動物保護管理事務所(関西分室) Tel 078-982-3340/ Fax 078-987-2290/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 横山・宮本・井ノ口
	後期	1月22日(火) ～1月25日(金)	1月11日(金)	(株)野生動物保護管理事務所(関西分室) Tel 078-982-3340/ Fax 078-987-2290/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 横山・宮本・井ノ口

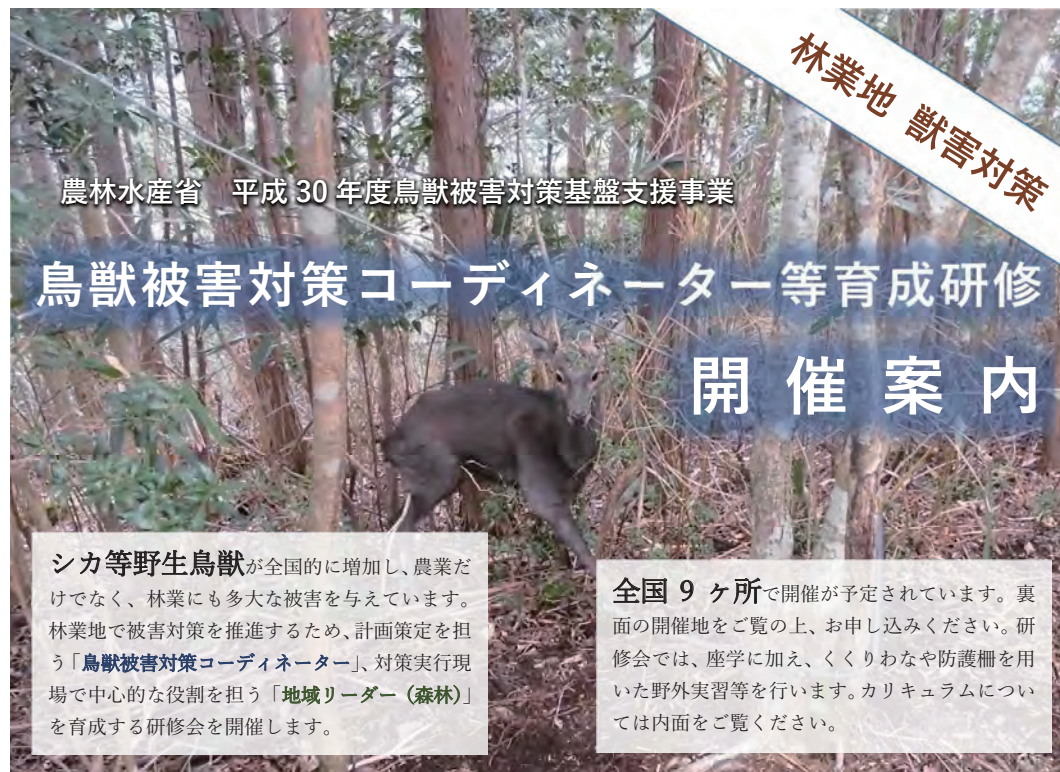
地域リーダー(森林)

開催地	日程	申込締切	問い合わせ先
北海道 深川市	11月19日(月) ～11月21日(水)	11月12日(月)	NPO法人EnVision環境保全事務所 Tel & Fax 011-726-3072/ Email hokkaido_kensyu@env.gr.jp 担当: 中村・早稲田
宮城県 気仙沼市	11月20日(火) ～11月22日(木)	11月6日(火)	(同)東北野生動物保護管理センター Tel 022-394-5980/ Fax 022-394-7922/ Email kensyu_tohoku@four-m.jp 担当: 木野田・小野田
山梨県 富士河口湖町	11月14日(水) ～11月16日(金)	11月7日(水)	(株)野生動物保護管理事務所 Tel 042-798-7545/ Fax 042-798-7565/ Email kenshu@wmo.co.jp 担当: 宗兼・三井・榊
愛知県 新城市	12月10日(月) ～12月12日(水)	11月26日(月)	(株)野生鳥獣対策連携センター Tel 0795-78-9799/ Fax 0795-78-9769/ Email kensyu@cho-jyu.jp 担当: 黒岩
奈良県 奈良市	11月28日(水) ～11月30日(金)	11月13日(火)	(一社)日本森林技術協会 Tel 03-3261-6349/ Fax 03-3261-3044/ Email kenshu_nara@jafta.or.jp 担当: 山本・藤井
岡山県 津山市	12月3日(月) ～12月5日(水)	11月19日(月)	(株)野生鳥獣対策連携センター Tel 0795-78-9799/ Fax 0795-78-9769/ Email kensyu@cho-jyu.jp 担当: 黒岩
香川県 小豆郡	11月26日(月) ～11月28日(水)	11月12日(月)	(株)野生鳥獣対策連携センター Tel 0795-78-9799/ Fax 0795-78-9769/ Email kensyu@cho-jyu.jp 担当: 黒岩

座学から野外実習地へは移動を伴います。また、記載内容には変更の可能性がありますので、ウェブサイト <http://www.wmo.co.jp> の最新情報をご確認ください。

参加申込

申込方法が研修会開催地によって異なります。
(株)野生動物保護管理事務所ウェブサイト
(<http://www.wmo.co.jp>)をご確認ください。各研修会の定員は30名です。定員に達し次第、募集は終了させていただきます。なお、鳥獣被害対策コーディネーター研修会は前期/後期の二部構成になっており、両研修会に参加可能な方を優先させていただきます。



林業地 獣害対策

農林水産省 平成30年度鳥獣被害対策基盤支援事業

鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修
開催案内

シカ等野生鳥獣が全国的に増加し、農業だけでなく、林業にも多大な被害を与えています。林業地で被害対策を推進するため、計画策定を担う「**鳥獣被害対策コーディネーター**」、対策実行現場で中心的役割を担う「**地域リーダー(森林)**」を育成する研修会を開催します。

全国9ヶ所で開催が予定されています。裏面の開催地をご覧ください。研修会では、座学に加え、くくりわなや防護柵を用いた野外実習等を行います。カリキュラムについては内面をご覧ください。

鳥獣被害対策コーディネーター

鳥獣被害対策^(※)に関する幅広い知識をもち、被害対策の計画策定能力をもつ人材の育成を目的とする研修会です。4日間×2回(前・後期)の研修期間内で、計画策定に必要とされる基礎知識等の座学、被害対策技術の野外実習に加え、計画策定実習を行います。

主な対象者: 森林総合監理士、森林管理局習職員、普及指導員、森林施業プランナー、都道府県担当職員、市町村担当職員、林業事業体職員等



地域リーダー(森林)

鳥獣被害対策^(※)の技術を身につけ、実行現場で指揮をとることができる人材の育成を目的とする研修会です。3日間の研修期間で、被害対策に関する基礎知識および技術に関する座学、野外実習を行います。

主な対象者: 森林管理署職員、普及指導員、市町村担当職員、森林組合職員、林業事業体職員等



^(※)全国的な被害状況から本研修会で扱う獣種はシカのみとなります。

参加
費用

無料 (テキスト代を含む)

参加
申込

Web 申込フォーム
または Email, Fax

主催 株式会社 野生動物保護管理事務所
<http://www.wmo.co.jp> / 東京都町田市小山ヶ丘 1-10-13 / Tel 042-860-0256

鳥獣被害対策コーディネーター研修会カリキュラム

午前の部(9:00-12:00)				午後の部(13:00-17:00)				夜間
前期	1 日 目			ガイ ダン ス	基本的な 考え方	現状の 把握	【室内実習】 ショートプレゼンテーション	
	2 日 目	目標設定と 計画立案	防護による鳥獣被害対策	事業の 効果検証	計画の 見直し	【室内実習】 広域計画策定実習		
	3 日 目	【野外実習】 現状の把握方法		【野外実習】 防護による鳥獣被害対策				
	4 日 目	【室内実習】 防護計画策定実習						
後期	1 日 目			前期の 振り返り	【室内実習】 ショートプレゼンテーション	捕獲による鳥獣害対策 (銃)		
	2 日 目	【野外実習】 捕獲による鳥獣害対策(銃)		【野外実習】 捕獲による鳥獣害対策(わな)			【野外実習】 ライトセリナス	
	3 日 目	捕獲による鳥獣害対策(わな)		捕獲による 鳥獣害対策	【室内実習】 捕獲計画策定実習①			
	4 日 目	【室内実習】 捕獲計画策定実習②						

地域リーダー(森林)研修会カリキュラム

午前の部(9:00-12:00)		午後の部(13:00-17:00)				夜間
1 日 目		ガイ ダン ス	基本的な 考え方	現状の 把握	防護による鳥獣被害対策	
		研修の目的 を理解する。	対策の一般 論を理解する。	状況把握手 法を理解する。	防護の個別手法、目的に応じた手法 の選択方法、事業実施にあたって必 要な調査・手続き等を理解する。	
2 日 目	【野外実習】 現状の把握方法 現地での解説、植生調 査等により、現状把握に 必要な知識を習得。	【野外実習】 防護による鳥獣害対策 複数の種類のネット柵を設置しながら、設置時の 注意事項の解説等とおし、柵の設置に関する基 礎知識を習得する。	【野外実習】 捕獲による鳥獣害対策 くくりわなの設置実習をとおし、場所の選定方法、設置位置や設置方法の詳細、 わなの仕組み、安全上の注意点等に関する知識を習得する。また、現 地で稼働しているわなについて解説する。			【野外実習】 ライトセリナス 夜間のシカを直接 観察する調査を実 施する。
3 日 目		捕獲による鳥獣害対策 わなを用いた捕獲を行う場合の主な捕獲手法の 特徴と留意点、殺処分の方法と注意点、捕獲業 務実施の流れ等を習得する。				

- 【野外実習】／【室内実習】の記載がないものは座学となります
- 枠の幅は所要時間の目安となります
- 野外実習には移動が伴います
- 開催地により、座学・実習の順序、内容および所要時間が異なることがあります
- 詳細と最新情報はウェブサイト (<http://wmo.co.jp/r-kenshu/>) に記載しています



研修会カリキュラムや事業全体に関する問い合わせ：

株式会社 野生動物保護管理事務所／Tel 042-860-0256 (担当：平山・桜庭・岸本)